

山行報告書

報告書作成

2009年4月22日

山名 [山域]	願教寺山(1690m、奥美濃)	目的と方法	残雪の白山展望
登山期間	2009/4/4-5	山行形態	往復(テント携行避難小屋泊)
参加人数	6人		

行動記録

[4月4日]

河合池運動公園(5:00) = 0:03=豊田東IC(5:03)=0:54= 長良川SA(5:57,6:25) =0:30= 白鳥IC(6:55) =0:35= 白山中居神社(7:30,8:15)-造林記念碑(9:15,9:25)-石徹白登山口(10:20,10:50) -0:20- 石徹白の杉(11:10,11:20) -1:10- 尾根にて昼食(12:30,12:50)-0:45- おたけり坂 (13:35) -0:40- 神鳩ノ宮避難小屋(14:50) 就寝(18:15)

[4月5日]

起床(3:00)

小屋出発(5:00) -0:40- 母御石(5:40) -0:25- 銚子ヶ峰(6:05,6:15) -0:25- P1784m(6:40)-0:10- つなぎぶしの桧(6:50,7:00) -1:00- P1670m(8:00) -0:25- 願教寺山(8:25,9:00)-1:00- つなぎぶしの桧(10:00,10:30)-0:20- 銚子ヶ峰(11:50,12:00)-0:50- 神鳩ノ宮避難小屋(12:50,13:50) -2:10- 石徹白登山口(16:00,16:25)= 満天の湯(16:50,18:30) =0:30=白鳥IC(19:00)=0:10= 美濃加茂SA(20:00,20:05)=豊田東IC(20:46) =0:09= 河合池運動公園(20:55)

概念図



日誌

[4月4日]

石徹白登山口に向かう林道は柵で止められており、白山中居神社の駐車場に車を止めて歩き出す。林道のわきにふきのとうが出ている。リンドウには大小の落石がころがっている。石徹白登山口の駐車場は除雪されノーマルタイヤの車を含む3台が止まっていた。トイレも利用できた。

登山口から5分ほどで雨具を装着した。雪道は良く滑って歩きやすい。雨は雲から雪に変わっていった。

おたけり坂での急斜面直登ではストックをアイゼンに持ち替えて登った。

神鳩ノ宮避難小屋に着いたときには風はあまり強くないが雪で景色は見られない状態だ。小屋には岐阜から来た先客が2名。夕食、宴会の後18:15に就寝。強い風が吹いていたが、3:00頃にはやんだ。

[4月5日]

岐阜の2名とともに3:00に起床。アイゼンを装着し出発。昨夜の新雪が積もって真っ白な雪面を歩く。昨日と違って三ノ峰や別山がよく見える。通過するルートには十分雪が残っていて雪庇が割れているところはなかった。

山頂で薙刀平テント泊の単独登山者に会う。願教寺山に着く頃から雲に覆われた。願教寺山山頂で30分ほど晴れ間を待つが、白山が現れたのは一瞬だけだった。気温はマイナス3度C。

帰りは徐々に雲が消えて暖かく視界も開けてきた。神鳩ノ宮避難小屋で休憩中に同宿した2人連れが現れた。願教寺山から引き返し、丸山を往復してきたようだ。彼らのご厚意により運転手2名が石徹白登山口から白山中居神社まで送ってもらうことができ、帰りは林道歩き2時間を省略できた。